

【放牧】 繁殖牛の放牧で棚田の景観復活 小豆郡土庄町豊島 中野博喜

- 土庄町豊島はかつて、美しい棚田が山頂近くまで広がっていたが、高齢化や鳥獣被害により、耕作放棄地が増加。
- 平成16年、中野氏は退職後に耕作放棄地対策として移動放牧の実施を検討。
- 平成17年、荒廃農地の解消と繁殖経営の向上を目指し繁殖牛2頭の放牧を開始。
- 繁殖牛・子牛ともに年間を通して放牧を実施。
- 耕作放棄地を放牧地に転換したことで、荒廃農地の解消と鳥獣被害が軽減。

【放牧地の状況】

- 耕作放棄地を放牧地に転換して利用
- 2～3枚の田を1牧区として利用
- 野草を活用した周年放牧
- 放牧による自給飼料の確保と景観保全に貢献



放牧地の状況



	H28	H29	H30	R 1	R 2
繁殖牛頭数（頭）	15	16	17	18	17
放牧面積（ha）	1.0	1.1	1.4	1.4	1.2



今後の課題



放牧地が広いため、発情発見装置などICTを活用し、発情管理の省力化を推進